

## 旭川廃棄物処理センター維持管理状況の情報公表

設置者名	株式会社 旭川振興公社 代表取締役社長 高瀬 善朗
施設名称	旭川廃棄物処理センター
設置場所	旭川市江丹別町共和279-2
問合せ先	(0166) 63-4153

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

### 1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項	別 添 設置許可証のとおり
--	------------------

### 2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第七号	安定型の産業廃棄物の最終処分場	以下のとおり

イ 埋め立てた産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(状況：平成 30 年度分 (単位：t))

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
廃プラスチック類	57.46	68.84	100.69	137.34	52.75	130.42	127.22	168.57	125.38	94.78		
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	93.12	191.27	236.54	208.07	320.19	214.86	204.81	282.91	186.54	130.49		
がれき類	97.22	133.14	39.51	94.62	71.05	219.99	275.47	200.92	80.97	17.13		
石綿含有産業廃棄物	0.02	0.57	0.66	2.12	8.22	1.55	1.26	5.38	2.92	0.46		
安定型混合物	129.64	136.55	140.36	135.08	221.40	168.35	151.92	75.85	86.54	54.58		
計	377.46	530.37	517.76	577.23	673.61	735.17	760.68	733.63	482.35	342.88		

ロ 最終処分基準省令第二条第二項第二号の規定によりその例によることとされた最終処分基準省令第一条第二項第七号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：平成 30 年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	擁壁等が損壊するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
埋め立てる廃棄物の流出を防止するための擁壁等	平成 30 年 4 月 11 日	異常なし		—



ホ 最終処分基準省令第二条第二項第二号ハ及びホの規定による水質検査に関する次に掲げる事項  
(周縁井戸 A 又は地下水集排水設備)

(状況：平成 30 年度分)

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型地下水上流部	平成 30 年 11 月 12 日	平成 31 年 02 月 12 日	不検出
総水銀	一リットルにつき 0.0005 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0005 未満
カドミウム	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
鉛	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.007
六価クロム	一リットルにつき 0.05 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
砒素	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
トリクロロエチレン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
四塩化炭素	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・二・ジクロロエタン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0004 未満
一・一・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・二・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004 未満
一・一・一・トリクロロエタン	一リットルにつき 1 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.1 未満
一・一・二・トリクロロエタン	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
一・三・ジクロロプロペン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
チウラム	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
シマジン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
ベンゼン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
セレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
クロロエチレン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・四ジオキサン	一リットルにつき 0.05 ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。浸透水の品質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

塩化ビニルモノマーはクロロエチレンに呼称に変更 (平成 29 年 4 月 1 日施行)

**埋立処分開始後（周縁井戸 B）**

（状況：平成 30 年度分）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型地下水下流部	平成 30 年 11 月 12 日	平成 31 年 02 月 12 日	不検出
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0005 未満
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.009
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・二・ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0004 未満
一・一・ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・二・ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004 未満
一・一・一・トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.1 未満
一・一・二・トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
一・三・ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
クロロエチレン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・四ジオキサン	一リットルにつき〇・五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

塩化ビニルモノマーはクロロエチレンに呼称に変更（平成 29 年 4 月 1 日施行）

**（浸透水採取設備）**

（状況：平成30年度分）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る浸透水を採取した場所	水質検査に係る浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型処分場浸透水排水口	平成30年11月12日	平成31年02月21日	不検出
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0005 未満
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.005 未満
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	不検出
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.002 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・二ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0004 未満
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.004 未満
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.01 未満
一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0006 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0003 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.001 未満
クロロエチレン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.0002 未満
一・四ジオキサン	一リットルにつき〇・五ミリグラム以下	同上	同上	同上	0.05 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

塩化ビニルモノマーはクロロエチレンに呼称に変更（平成29年4月1日施行）

**生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について一月に一回以上測定し、かつ、記録すること。**

(状況：平成30年度分)

	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量 又は化学的酸素要求量 (mg/l)
4月	安定型浸透水排水口	平成30年04月11日	平成30年04月23日	2.3
5月	〃	平成30年05月09日	平成30年05月21日	3.1
6月	〃	平成30年06月13日	平成30年06月25日	4.1
7月	〃	平成30年07月11日	平成30年07月21日	1.0
8月	〃	平成30年08月08日	平成30年08月21日	2.4
9月	〃	平成30年09月12日	平成30年09月22日	3.7
10月	〃	平成30年10月11日	平成30年10月22日	2.1
11月	〃	平成30年11月14日	平成30年11月27日	2.6
12月	〃	平成30年12月05日	平成30年12月15日	1.4
1月	〃	平成31年01月09日	平成31年01月19日	0.5未満
2月	〃	平成31年02月 日	平成31年02月 日	
3月	〃	平成31年03月 日	平成31年03月 日	

**埋立処分終了後、生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について三月に一回以上測定し、かつ、記録すること。**

(状況：平成30年度分)

	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量 又は化学的酸素要求量
1回目	—	—	—	—
2回目	—	—	—	—
3回目	—	—	—	—
4回目	—	—	—	—

**へ 最終処分基準省令第二条第二項第二号ニ及びへの規定による措置に関する次に掲げる事項**

(状況：平成30年度分)

項 目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
地下水等検査項目に係る水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場	該当なし	—	—

以外にあることが明らかであるものを除く。) が認められた場合			
--------------------------------	--	--	--

(状況：平成 30 年度分 公表の期限：措置を講じた日の属する月の翌月の末日)

項 目	最終処分場への産業廃棄物の 搬入及び埋立処分中止	措置を講じた 年 月 日	措置の 内 容
水質検査の結果、地下水等検査項目のいずれかについて当該地下水等検査項目に係る基準に適合していないとき。	該当なし	—	—
水質検査の結果、生物化学的酸素要求量が一リットルにつき二十ミリグラムを超えているとき、又は化学的酸素要求量が一リットルにつき四十ミリグラムを超えているとき。	該当なし	—	—